

今年度から

大田区立調布大塚小学校は、

もんぶかがくしょう

きょういくかていじゅうなんか

けんきゅうこう

文部科学省 教育課程柔軟化サキドリ研究校です。

もんぶかがくしょう

してい

う

せんせい

ぜんいん

文部科学省の指定を受けて、先生たち全員で、

さいせんたん けんきゅうかいはつ

最先端の研究開発にとりくみます。

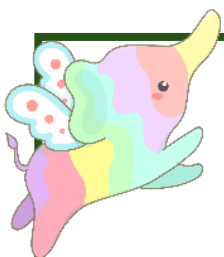


ないよう

しょうかい

その内容について、紹介します。

令和8年4月28日（月） オリエンテーション



きょうか しんせつ
I 教科の新設

みらい ねんせい きょうか
「おおたの未来づくり」は、5・6年生だけの教科
あたが かくしゅう
でしたが、新しく1～4年生でも学習します。

年間 5・6年生35時間、1～4年生30時間



ぜんいん

ちいき

みりよく

はっけん

はっしん

全員で、地域の魅力を発見・発信する。

じぶん

ちいき

しゃかい

みらい

自分たちが地域のため・社会のため・未来のために

そうぞう

できることを創造する。

がくしゅうせいか

こうりゅう

「みらいフェスタ」で学習成果を交流してください



さいりょうてき じかん

2 裁量的な時間<みんなの時間>

きょうか がくしゅう

どの教科の学習にもあてはまらない新しい時間
です。

あたらしい じかん

年間 5・6年生25時間、1～4年生30時間



いがくねん まな じかん
・異学年で学ぶ時間

まな かた まな じかん
・学び方を学ぶ時間

じぶん じかん
・自分マネジメントする時間

たんきゅう じかん
・さらに探究する時間

- ・学んだことを教え合う
- ・異学年いっしょに課題を解決する

- ・いろいろな学び方があることを知る
- ・自分に合った学び方を選んでみる
- ・学び方を使ってみる

- ・うまくいくコミュニケーションを知る
- ・自分自身を知る

- ・もっと知りたい!を大切に調査する
- ・発見したことを工夫して発信してみる



さいりょうてき じかん せんせい じかん
3 裁量的な時間＜先生の時間＞

じかん かいはつ じゅぎょう しつ
「みんなの時間」を開発するため、授業の質を
たか せんせい けんきゅう じかん
高めるため、先生たちが研究する時間です。

年間30時間

だいがく けんきゅうしゃ いっしょ けんきゅう
・大学の研究者と一緒に研究をすすめます。

ふか まな じゅぎょう ぎじゅつ たか
・深く学べる授業のための技術を高めます。

せんせい ぜんいん きょうりょく じゅぎょう しつ たか
先生たち全員で協力して、授業の質を高めます。

年間30時間

「おおたの未来づくり」

5・6年生35時間、1～4年生30時間

裁量的な時間(みんなの時間)

5・6年生25時間、1～4年生30時間

裁量的な時間(先生の時間)

1～6年生30時間

授業の時数は増やしません。

「おおたの未来づくり」・「裁量的な時間」をあわせて 標準授業時数

1年	2年	3年	4年	5年	6年
850	910	980	1015	1015	1015

標準授業時数：法律で決まっている年間の授業時間

みんなに 続けてほしいこと

めあて

「どのようなことができるようになるのか」確認する。

たいせつ

「めあて」をクリアするために「大切なこと」を先生が説明する。
説明を聞きながら分からないことは質問する。

たしかめ

「大切なこと」を「なぜかという〜、」と理由を付けてペアになって説明してみる。

チャレンジ

「大切なこと」を手掛かりにして、自分たちだけで協力して問題を解決する。

ふりかえり

分かったこと・分からなかったこと・自分にとって大切だと思ったこと をふりかえり、次の学習に生かす

みんなに 続けてほしいこと

予習

- よく分からないことを分かっておく。
よく分からないことを分かっておくと、授業が分かる。
- ・教科書を読んでおく。
 - ・グラフや図、地図、楽譜などを見ておく。 など

授業

学習したことが説明できるか、ノートやワークシートを使って、説明してみる。

- ・ノートに書いてみる。
- ・おうちの人に説明してみる。
- ・classroomの返信に書いておく。 など

復習

今年度から

大田区立調布大塚小学校は、

もんぶかがくしょう

きょういくかていじゅうなんか

けんきゅうこう

文部科学省 教育課程柔軟化サキドリ研究校です。



しょうかい お

これで紹介を終わります。

さあ、みんなで「サキドリ」はじめよう。

令和8年4月28日（月） オリエンテーション